



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月5日

上場会社名 **santec**株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6777 URL <http://www.santec.com/jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鄭 台鎬
 問合せ先責任者 (役職名) 業務部経営企画グループ長 (氏名) 山下 英哲 TEL 0568-79-3535
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	2,690	34.7	235	230.1	345	31.1	591	66.5
27年3月期第3四半期	1,997	△8.7	71	△45.6	263	△1.9	355	34.9

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 134百万円 (△62.3%) 27年3月期第3四半期 357百万円 (△32.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	49.54	—
27年3月期第3四半期	29.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	9,192	7,915	86.1	670.00
27年3月期	9,173	7,971	86.9	666.50

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 7,915百万円 27年3月期 7,971百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,700	17.2	260	9.7	400	△5.7	590	29.9	49.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	11,961,100株	27年3月期	11,961,100株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	146,714株	27年3月期	314株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	11,941,880株	27年3月期3Q	11,960,786株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の御利用に当たっての注意事項などについては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年12月31日まで。以下、「当第3四半期」。)における世界経済は、米国で順調な景気回復が続く一方、中国経済の減速や、資源価格の下落などによる新興国の不振が世界全体へ波及する恐れがあることから、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような中、当社グループは、平成28年3月期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで。)の基本方針として、「顧客ニーズの先取りとBU(ビジネスユニット)の自立成長」を掲げ、積極的な新製品の販売促進、品質維持・向上による顧客からの信頼獲得、及び社員の知的体力増進による業務効率化と生産性向上を目指し、事業活動を展開しております。

この結果、当第3四半期の連結売上高は2,690百万円と、前第3四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年12月31日まで。以下、「前第3四半期」。)の1,997百万円に比して34.7%の増加となりました。主として、近年減収傾向にあった光部品関連製品が、北米を中心に大幅な増収となったためであります。これに伴い、営業利益は235百万円と、前第3四半期の営業利益71百万円に比して大幅に増加いたしました。さらに経常利益は345百万円と、前第3四半期の経常利益263百万円と比して31.1%増加しております。

当社は、平成27年8月25日付「特別利益(投資有価証券売却益)の計上に関するお知らせ」で開示しました通り、当社が所有していたTransmode社(スウェーデン)株式会社について、Infintera社(米国)との間でTOBが成立したことから、特別利益(投資有価証券売却益)409百万円を計上しました。これを加え、当第3四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益は591百万円となり、前第3四半期の355百万円に比して大幅に増加いたしました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 光部品関連事業

同事業における当第3四半期の売上高は1,235百万円と、前第3四半期の706百万円に比して74.7%と大幅に増加いたしました。主として、通信設備投資が活況な北米で、通信キャリア向け販売が好調であったためであります。さらに、ベトナム協力工場での生産安定化がモニター製品を中心として利益増加に寄与し、セグメント利益は190百万円と、前第3四半期のセグメント利益16百万円に比して大きく改善しております。

② 光測定器関連事業

同事業におきましては、主力製品である波長可変光源製品の引き合いが北米を中心に引き続き好調で、さらに製造現場向けの売上が新興国で伸びたことから、当第3四半期の売上高は1,106百万円と、前第3四半期の964百万円に比して14.7%増加いたしました。利益率の高い製品の売上が、円安効果の高い米国で伸びたことが寄与し、セグメント利益は9百万円と、前第3四半期のセグメント損失3百万円より利益に転じております。

同事業では、当第3四半期において、医療機器ブランド「movu」の第一弾製品である眼科向けAdvanced Optical Biometer(製品名:ARGOS)が、米国におけるFDA認可を取得したことにより、ヨーロッパに続いて米国でも販売活動を開始いたしました。

③ システム・ソリューション事業

同事業におきましては、モバイルデバイスなどからPCを操作するPC遠隔操作ソリューションの更新ビジネスが安定していたため、当第3四半期の売上高は348百万円と、前第3四半期の326百万円に比して6.9%増加いたしました。一方で新規顧客開拓や製品プロモーション強化のための販売費用が増加したことにより、セグメント利益は35百万円と、前第3四半期の57百万円に比して減少しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期末の総資産は、前連結会計年度末(9,173百万円)に比べて19百万円増加し、9,192百万円となりました。これは、たな卸資産などの増加があったことによるものであります。

② 負債

当第3四半期末の負債は、前連結会計年度末(1,201百万円)に比べて75百万円増加し、1,276百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金、賞与引当金などが増加したことによるものであります。

③ 純資産

当第3四半期末の純資産は、前連結会計年度末(7,971百万円)に比べて56百万円減少し、7,915百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加した一方で、その他有価証券評価差額金の減少及び自己株式の取得があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

光部品関連事業におきましては、北米における通信設備投資が活発に行われている中、顧客のニーズに確実に応えていくことが非常に重要となっております。光測定器関連事業におきましては、医療機器関連製品の販売促進による新たな成長基盤の確立が求められております。システム・ソリューション事業におきましては、益々複雑かつ多様化するモバイル通信分野において、ユーザーの業務効率化につながるアプリケーションソフトの提供など新たなニーズの発掘、新しい商品の提供が重要となっております。

当社グループは、このような環境のもと、市場の動向を正確に見極め、少しでも早く市場の求める新製品を開発、市場へ提供することを目指すと共に、変化に対して的確な対応を可能とする最適な組織作りを行い、光技術の可能性を更に高めるため全力を尽くしてまいります。

通期連結業績予想につきましては、平成27年8月25日に公表いたしました業績予想を修正しております。さらに期末配当予想に関しましても、平成27年5月8日付発表のものから変更しております。詳細につきましては、本日(平成28年2月5日)公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、これによると著しく合理性を欠く結果となる場合には「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項(法定実効税率を使用する方法)に準じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,989,414	1,996,707
受取手形及び売掛金	1,052,104	850,457
電子記録債権	58,320	58,320
有価証券	244,092	485,985
商品及び製品	294,652	296,397
仕掛品	54,550	153,952
原材料	115,373	251,598
その他	48,978	97,682
貸倒引当金	△603	△254
流動資産合計	3,856,883	4,190,847
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,581,678	1,529,317
機械装置及び運搬具(純額)	25,021	23,468
土地	1,592,577	1,592,577
リース資産(純額)	2,096	1,726
建設仮勘定	19,783	13,098
その他(純額)	67,906	114,532
有形固定資産合計	3,289,063	3,274,721
無形固定資産	23,553	31,149
投資その他の資産		
投資有価証券	1,962,171	1,652,170
その他	41,570	43,387
投資その他の資産合計	2,003,741	1,695,557
固定資産合計	5,316,359	5,001,429
資産合計	9,173,242	9,192,277

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	259,901	435,139
未払法人税等	112,065	134,616
賞与引当金	17,892	57,155
役員賞与引当金	15,449	—
その他	261,849	215,983
流動負債合計	667,158	842,895
固定負債		
退職給付に係る負債	351,119	372,929
資産除去債務	11,623	11,824
その他	171,434	49,039
固定負債合計	534,176	433,793
負債合計	1,201,335	1,276,688
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,978,566	4,978,566
資本剰余金	1,209,465	1,209,465
利益剰余金	1,329,445	1,801,489
自己株式	△119	△71,653
株主資本合計	7,517,358	7,917,867
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	445,679	△6,829
為替換算調整勘定	8,869	4,551
その他の包括利益累計額合計	454,548	△2,278
純資産合計	7,971,907	7,915,588
負債純資産合計	9,173,242	9,192,277

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	1,997,885	2,690,534
売上原価	978,785	1,394,172
売上総利益	1,019,100	1,296,361
販売費及び一般管理費	947,759	1,060,841
営業利益	71,341	235,520
営業外収益		
受取利息	50,781	59,207
受取配当金	30,526	9,233
為替差益	114,921	43,679
その他	25,082	24,648
営業外収益合計	221,313	136,768
営業外費用		
支払利息	30	30
不動産賃貸費用	11,469	10,206
休止固定資産関係費用	17,628	15,736
その他	16	834
営業外費用合計	29,145	26,807
経常利益	263,508	345,481
特別利益		
固定資産売却益	266	—
投資有価証券売却益	40	430,377
受取補償金	212,233	—
その他	2,038	3,469
特別利益合計	214,578	433,846
特別損失		
固定資産除却損	45	114
特別損失合計	45	114
税金等調整前四半期純利益	478,041	779,214
法人税等	122,711	187,562
四半期純利益	355,330	591,651
親会社株主に帰属する四半期純利益	355,330	591,651

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	355,330	591,651
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△55,724	△452,509
為替換算調整勘定	57,814	△4,317
その他の包括利益合計	2,089	△456,827
四半期包括利益	357,420	134,824
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	357,420	134,824
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	光部品 関連事業	光測定器 関連事業	システム・ ソリューション 事業	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高				
外部顧客への売上高	706,998	964,515	326,372	1,997,885
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	706,998	964,515	326,372	1,997,885
セグメント利益又は損失(△)	16,806	△3,224	57,758	71,341

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	光部品 関連事業	光測定器 関連事業	システム・ ソリューション 事業	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高				
外部顧客への売上高	1,235,095	1,106,688	348,750	2,690,534
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,235,095	1,106,688	348,750	2,690,534
セグメント利益	190,055	9,762	35,701	235,520

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。